

きみつ市議会 だより



第2回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより
編集委員会

CONTENTS

- 2 第2回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(13議員が質問)
- 10 委員会の焦点



旧三島小学校がスポーツ&合宿所にリニューアル!



清和地区にある旧三島小学校では令和2年に学校としての役割を終えた後、公募により活用事業者となった(株)新昭和に施設が譲渡され、スポーツ合宿などができる施設へと改修が行われました。「房総クロスヴィレッジ」と名称を新たにしたこの施設には、ラクロスやサッカーが行える人工芝のグラウンドや、最大107名が宿泊できる宿泊棟などがあり、7月19日にオープンしました。

また、秋には自然休養村管理センターの直売所機能が移転予定で、さらなる賑わいが生まれることが期待されます。市では旧三島小学校のほかにも空き校舎の活用を進めており、これまでも多くの校舎が新たな用途で活用されています。

第2回定例会のあらまし

一般会計補正予算、施設の廃止など 議案23件、陳情2件を議決

第2回定例会は、5月30日から6月20日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和7年度 君津市一般会計補正予算など市長提出の21議案、委員会提出の2議案、陳情2件を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・採択されました。

一般質問では、13人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

主な日程

第2回定例会（5～6月）	
5/30(金)	本会議（招集日） 諸般の報告、会期の決定、議案等の上程
6/5(木)	本会議 一般質問
6(金)	本会議 一般質問
9(月)	本会議 一般質問、追加議案の上程、委員会付託
12(木)	建設経済常任委員会
13(金)	総務常任委員会
16(月)	教育福祉常任委員会
20(金)	本会議（最終日） 委員長報告、質疑、討論、採決

▼ 反対

本会議における主な討論

▼ 賛成

貸付けの相手方の事業計画では高麗人参の栽培やサプリメントの製造が計画されているが、サプリメントは使用方法を誤ると逆効果となる可能性があるなど一部事業に懸念があり、市が施設を貸し付けた責任を問われる可能性があることから賛成できない。

ボールパーク建設は今後の市の未来を担う事業であり、基本設計や業者選定を外部委託することに反対する。また、市長が海外視察に行くことについて必要性が不明であること、建設予定地が農業振興地域であることなどから反対する。

議案第8号

財産の無償貸付 について

事業者選定にあたっては、施設の活用、地域とのかかわり、財務状況など様々な視点から十分精査されたものであり、事業内容も障がい者の就労支援につながることで、収益の一部をスポーツ振興にも充てるなど幅広い効果が見込まれる。

議案第17号

君津市一般会計 補正予算(第2号)

市長自らが現地に赴き、アメリカのマイナーリーグ施設を中心とした調査を行い、双方のトップ同士が適宜意見を交わし、目指すビジョン、施設の在り方を共有し、視点を同じくすることは今後の施設整備、さらにはまちづくりを考えるうえでも非常に重要と考える。

また、施設の建設にあたっては、基本計画や設計段階から高度な専門的知見やノウハウが必要であり、これらを外部委託することは合理的であると考えます。

令和7年度

一般会計補正予算

主な事業を
紹介します

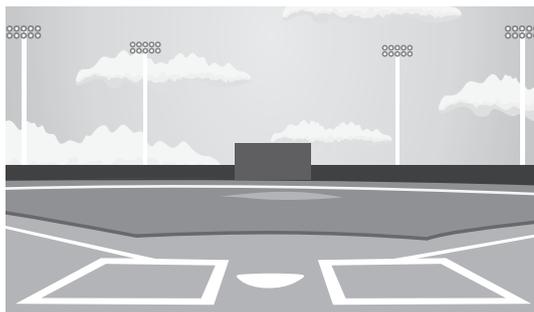
今定例会では、君津市一般会計補正予算（第2号・第3号）に係る議案の審議を行いました。
主な事業は以下のとおりです。

第2号

ボールパーク整備推進事業

9,064万4千円

ボールパークの整備に係る基本計画、造成設計等の業務委託のほか、国内、アメリカの野球場等の視察に要する費用等を計上します。



市税収納事務費

577万5千円

基幹システムの標準化に伴う公金収納管理業務の仕様変更に対応する経費を計上します。



災害対策事務費

107万5千円

被災者支援システム導入に要する経費の一部に国・県交付金を活用するための事業費の見直しや、令和6年度に採納した寄附金を活用し、災害時生活用水協力井戸の案内標識を購入します。

第3号

定額減税調整給付金 給付事業 (不足額給付)

3億7,730万円

令和6年分所得税及び定額減税の実績額等が確定したことによる、定額減税調整給付金の不足額給付のための費用を計上します。

キャッシュレス決済を 通じた物価高騰対策事業

1,897万5千円

国の経済対策による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付を活用し、キャッシュレス決済を活用したキャンペーンの事業費の増額や、带状疱疹ワクチン接種者への助成金額を上乗せします。

成人感染症 予防事業

203万2千円





市政を問う!

一般 質問

Q & A

第2回定例会において、13人の議員が質問を行いました。各議員の質問の大綱については下記のとおりです。(通告順)
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

小倉 広紀 議員

P.6

令和新政

- ・総合計画について
- ・ファシリティマネジメントについて
- ・教育行政について
- ・子育て環境の整備について
- ・有害鳥獣対策について
- ・防災力の向上について

満武 琢也 議員

P.6

きみつ未来

- ・安心して子育て・子育てでき喜びを楽しめるまちについて
- ・快適で安心して暮らせるまちについて

四宮 安彦 議員

P.6

創政会

- ・さらなる発展を目指していく君津市について
- ・安心して生活できる君津市を目指して
- ・JR久留里線について

大和 ヒロシ 議員

P.7

令和新政

- ・快適で安心して暮らせるまちについて
- ・有害鳥獣対策について
- ・ともに創る次世代につながるまちについて

佐藤 葉子 議員

P.7

公明党

- ・地域経済の活性化について
- ・子育て支援の強化について
- ・環境対策について
- ・健康を守る取組について

三浦 道雄 議員

P.7

諸派・日本共産党

- ・市長の政治姿勢について
- ・医療・福祉行政について
- ・環境行政について

大滝 浩介 議員

P.8

創政会

- ・快適で安心して暮らせるまち
- ・安心して子育て・子育てでき喜びを楽しめるまち
- ・経済と環境が調和したまち

鈴木 高大 議員

P.8

創政会

- ・君津市の土地及び建物の有効活用について

高橋 健治 議員

P.8

公明党

- ・憩いの場の環境整備について
- ・安全・安心な学校づくりについて
- ・災害対策について
- ・持続可能な農業について
- ・住環境整備について
- ・地域で住み続けられる環境について

野上 慎治 議員

P.9

公明党

- ・孤立を防ぐ地域づくりについて
- ・周西の丘小学校の教育環境整備について
- ・安全・安心のまちづくりについて
- ・清和地域の活性化について

石上 壘 議員

P.9

きみつ未来

- ・将来ビジョン「ひとが輝き幸せつなぐきみつ」の実現について
- ・中学校の部活動について
- ・市役所本庁舎の安全について
- ・快適で安心して暮らせるまちの実現に向けて

下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- ・市長公約について
- ・直面する課題について

林 祥子 議員

P.10

諸派・希望にみらい

- ・健康被害が出ているワクチン接種について
- ・安心安全な食の取組について
- ・公共交通について
- ・環境保全の取組について



令和新政
小倉 広紀 議員

総合計画

Q 千葉ロッテマリーンズのファーム本拠地誘致を契機とし、駅周辺を含めてどのようなまちづくりを展開していくのか伺う。

A 駅周辺については「誰もが訪れたいくなる活気あふれるまち」を目指し進めてきた。本プロジェクトの波及効果をまちづくりで最大限活かし、将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現に向け取り組む。

教育行政

Q 保護者と学校等の新たな連絡手段として、連絡アプリ「すぐる」が導入されたが、教職員と保護者の負担軽減効果はどの程度あったのか伺う。

A 保護者からの欠席・遅刻連絡や、学校からの日常的な便りなどの送信等が迅速かつ容易に行えるようになり、業務の負担軽減につながった。

子育て環境の整備

Q こども達が少しでも笑顔になれるよう、こども計画にも示されている生活を安定させるための支援や、地域や外部団体と連携した貧困対策を着実に進めるため、どう取り組んでいくか伺う。

A こども食堂やフードバンクなどの団体と連携し、こどもたちの居場所づくりや孤立防止を図るとともに、これらの情報を支援が必要な家庭に着実に届けるなど、子育て支援の充実に努める。



きみつ未来
満武 琢也 議員

小1の壁

Q 東京都三鷹市では、シルバー人材を活用し、始業時間の1時間前に校庭を開放して、子どもたちの朝の居場所を提供している。子どもたちの安心・安全の確保、共働き世代にとって素晴らしい取組だと思うが、本市でもこうした朝の取組ができないか伺う。

A 朝の居場所づくりについては、子育て世帯の安全・安心につながる取組の一つであると考え、人材の確保や運営体制の構築、学校との連携など課題もあることから、地域の実情を踏まえ、関係機関と連携しながら、先行事例について研究していく。

小系川河道の整備

Q 広報誌やホームページなどを活用して、整備状況が多くの方の市民の皆さんに分かるよう、情報発信していただきたい。千葉ロッテのファーム移転に伴って、小系川の整備状況など、今後、市民の方だけではなく多くの方から関心を持たれると考える。整備が早く進むよう、県に強く要望していく必要があると考えるが、見解を伺う。

A 河川改修や土砂の撤去などについて、引き続き県に要望していく。



創政会
四宮 安彦 議員

防犯対策

Q 特殊詐欺や闇バイトによる治安の悪化がメディア等で報道されているが、今後の本市の防犯対策について伺う。

A 本市では犯罪を未然に防ぐため、専任の防犯巡視員による市内巡回パトロール等様々な視点で防犯施策を行っている。また新たな取組として現在、民間業者と防犯協定の締結に向けた協議を進めている。今後も犯罪を未然に防ぐ体制の強化に努め、安全で安心なまちづくりを推進していく。

農業政策

Q 今現在、本市で遊休農地及び荒廃農地はどのくらいあるのか伺う。

A 昨年度実施した農地の利用状況調査では、3,698ヘクタールのうち、遊休農地が371ヘクタール、耕作がされておらず再生が困難とされる荒廃農地は593ヘクタールとなっている。

JR久留里線の今後

Q より利便性の高い公共交通を構築するためJR側と協議していると思うが、当該区間の廃線は絶対条件であるのか伺う。

A JR東日本がバス転換を発表した経緯があるため、市としては現在協議を進めている。



令和新政
やまと
大和

ヒロシ 議員

有害鳥獣は捕獲後の処理も大変

Q 有害鳥獣処理の負担軽減につながる処理施設の設置が必要と考えるが、市の見解を伺う。

A 有害鳥獣処理施設の設置は重要と考えていることから、市原市以南の20市町村で構成する千葉県中南部地域市町村野生鳥獣対策会議により広域で共同利用できる処理施設の設置について県へ要望を行っている。

どうにかしたい小糸川

Q 小糸川に架かる橋の橋桁には木や竹がたまり流れを妨げ、上流からの砂は中州が形成されるほど堆積してしまっている。河川改修は急務と考えるが、市の見解を伺う。

A 今後も県と連携して安全な河川環境の確保に向けて取り組むとともに、引き続き県に対し河川改修を継続して実施するよう要望していく。

ヘルメット着用が努力義務化されたのだから

Q 令和5年度から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたが、それに加えて自転車専用通行帯の整備も進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 路肩の広い路線において自転車通行帯や車道混在型の路面表示を検討するなど、自転車が安全に通行できるように道路環境整備に努めていく。



公明党
さとう
佐藤

葉子 議員

5歳児健診の導入とフオー体制の充実

Q 小学校入学前の早い段階で発達状況を把握して適切な支援を受けることが大切。言語の理解能力や社会性が高まる5歳児の健診が必要と考えるが、本市での実施について伺う。

A 5歳児健診は、子どもの将来の育ちと学びの土台を整えるための健診であり極めて重要。医師の確保などの課題があるため、先進事例を参考に創意工夫しながら課題の解消に努める。

中高年世代への就職支援強化

Q 就職氷河期世代等に対し、より長く続けられる仕事へのキャリアアプエンジニアや就労に役立つセミナーの案内、地域企業とのマッチング支援など、安定就労を着実に進めるべきだが見解を伺う。

A 中高年向けの就職セミナーの開催やリカレント教育等の情報発信とともに、本市の強みである「きみジョブ」での寄り添った就職相談等、今後も国や県と連携しながら一人でも多くの方が希望の職に就けるよう努めていく。

リチウム蓄電池の適切な回収で事故防止を

Q 廃棄物処理時にリチウム蓄電池に起因する火災事故が全国的に増加。蓄電池を含む商品が増える中で、市民への周知強化について伺う。

A リチウム蓄電池の分別は事故の回避やサイクルにつながるため、次の「きみつくリーンカレンダー」に掲載するなど、さらなる周知に努める。



諸派・日本共産党
みつうら
三浦

道雄 議員

市長の政治姿勢

Q ファーム本拠地誘致に関し、議会や市民等に経過等の報告がなかった理由について伺う。

A 球団の公募に対し、本市を含め31自治体が応募したが、その際に球団と本市で秘密保持契約を締結したため。

Q 予定地は農振地域であるが、当地を選定した理由について伺う。

A ファーム本拠地の選定条件として3点あり、1つ目が地域との連携、2つ目が立地条件、3つ目が永続的な運営スキムとなっており、貞元地先が候補地として最適であることから、提案したものである。

Q 予定地に関係する方は何人いるのか、また農業を営む方など関係する皆さんの生の声は聴いているのか伺う。

A 当該地の地権者は60人以上おり、地権者説明会に関しては、決定の前も含めて複数回行っている。また、5月に地権者や周辺の住民も含めた説明会なども開催しており、今後も丁寧な説明に努めていく。

新井総合施設株式会社の動向

Q 第4期増設計画への市の立場を伺う。

A 同社の処分場は水源地に立地しており、第4期増設計画についても反対の立場である。



創政会
おおたき
大滝

こうすけ
浩介 議員

残土処理が課題の支線1号

Q ファーム予定地の造成工事と支線1号発生土の受入れを同時に進めてはどうか伺う。

A 市で発注する道路工事では発生土の運搬費等が生じるため、他の公共工事から受け入れるなど費用負担の無い方法により整備したいので、同時の事業実施は慎重に判断する。

Q 用地取得に協力している地元の方へ事業の経過を伝えるべきと考えるが、見解を伺う。

A 地元の方には交通量調査の結果等、事業状況を十分説明していく。

六手・貞元線への横断歩道設置

Q みふねの里保育園周辺の六手・貞元線に横断歩道設置の要望が高まっているが、見解を伺う。

A 交差する貞元、喜平線の道路工事完了後に警察が現地確認を行い、横断歩道の設置を判断する予定である。

不登校児童生徒の教育機会の確保

Q オンライン学習教材「デキタス」を今年度も継続して使用する経緯を伺う。

A 使用したきみつメイトの子どもたちや指導員から、自分のレベルやペースで進められたとの声が多く、貴重な学習ツールと考えている。

Q 県は、学校と近隣のフリースクール等との協力体制の構築を推進しているが、見解を伺う。

A 双方の連携は、子どもたちの社会的な自立を支援する上で重要な取組と認識している。



創政会
すずき
鈴木

たかひろ
高大 議員

空き公共施設の利活用

Q 公有財産の売却、貸付後の主な利活用状況と売却、貸付予定地の状況を伺う。

A 旧坂畑小及び旧亀山中はキャンパーや外国人観光客を呼び込み、旧松丘小中はドローン先端技術の学び場に。旧小糸小は今後障害者支援等の場となる見込み。旧大和田小は大学としての利活用に向けて協議を進めている。

地籍調査の効果

Q 地籍調査には土地の管理・活用の効率化や取引の円滑化、境界紛争の未然防止、公共工事の円滑化、災害復旧の迅速化などの効果があるが、本市の取組を伺う。

A 地籍調査の成果は、三直から常代をつなぐ市道八重原線整備や君津IC周辺の土地活用の検討、貞元地先の千葉ロッテファーム予定地の土地調査に活用しており、企業誘致や地域経済の活性化につながると考える。

小糸地区の公民館・保育園整備の今後の方向性

Q 小糸公民館再整備や保育園の統合移転後の開園計画について伺う。

A 小糸公民館の再整備については、諸課題や社会動向等の状況を勘案するとともに、既存の公共施設の状態を踏まえ検討、整備を進める。小糸地区の保育園については民営化に向け事業者の意向を踏まえ検討、整備を進めていく。



公明党
たかはし
高橋

けんじ
健治 議員

学校施設整備

Q 思春期の生徒にとつて、更衣室がなく他人の目が気になったりすることで、安心して学校生活を送れないというような問題が起こると考えられるが、見解を伺う。

A 着替える場所のプライバシーの確保については非常に重要であると考えており、本来であれば、男女が別々の部屋で着替えを行うことが望ましいと考えるが、部屋の確保や管理運営面での課題もあるため、学校と協議しながら生徒が安心して学校生活を送れるよう努めていく。

林地開発

Q 土地所有者の財産権を重視し、財産の保護を図ることも重要だが、住民の思いを理解した丁寧な対応も森林開発には必要であると考えられるが、見解を伺う。

A 林地開発を行う場合、森林法や千葉県条例に基づく許可申請や届出の手続が必要。面積が一定規模を超える開発の手続では、地域住民への説明会を開催し、住民の理解を得て進めることが義務づけられているが、小規模な開発の手続きにおいては地域住民への説明会は義務づけられていない。本市では、市に提出される伐採届で適切な手続が行われているか確認するとともに、県と情報共有を行っている。引き続き県と連携を密にし、無届けの開発や伐採の防止に努めていく。



公明党
野上 慎治 議員

災害時に活用できる地区防災計画の策定を！

Q 地区防災計画の内容を精査し、コンパクトにまとめた地域版タイムラインのモデルを市で作成し、自主防災組織に作成を呼び掛けてはどうか、見解を伺う。

A マイタイムラインについては、市のホームページや防災講座などを通じて、作成の周知に努めている。議員から提案があった愛媛県大洲市の事例についても研究していく。

コミュニティバスを活用した通学支援の実施を！

Q 周西の丘小学校の移転に伴い、新たな停留所を設け、時刻の変更まで予定しているのに、なぜ無償化しないのか理解できない。体力的に心配な一・二年生の保護者の声を聞いたのか。また、地域からはどのような声があったのか伺う。

A 地域の方々からは、統合準備室や施設整備説明会の際、また、人見、専門の保護者からはアンケートにより意見を伺っており、「無料でバスに乗せて欲しい」、「有料でも通学の選択肢として乗せて欲しい」などの意見があった。文部科学省の基準や市内のバス通学の補助状況を勘案し、現時点では無償化を行わない方向である。

民生委員協力員制度の創設を！

Q 民生委員とともに活動する協力員制度を創設してはどうか伺う。

A 本市の実情を踏まえ、制度内容や必要性等について調査研究をしていく。



きみつ未来
石上 塁 議員

スポーツを通じたまちづくり

Q プロ野球ファーム本拠地施設整備による内みのわ運動公園リニューアルへの財政面の影響と、スポーツ施設の拠点、勤労者総合福祉センターの今後の施設整備についての考え方を伺う。

A 内みのわ運動公園リニューアル事業への影響はないと考える。勤労者総合福祉センターについては、指定管理者と協議し、多くの方に利用していただけるよう適切な維持管理に努めていく。

大学誘致

Q 旧大和田小学校の利活用について優先交渉権者が決定したが、市に与える影響を伺う。

A 優先交渉権者に決定した学校法人タイケン学園とは、出前授業の提供、部活動顧問や児童生徒への指導、放課後児童支援員の派遣など、市内各校との連携を想定している。また、流入人口増加や市内消費の喚起による経済効果と、学生寮の建設提案もあり、定住人口増加も見込まれる。

金属スクラップヤード等規制条例の施行

Q 県の条例が施行されて1年経つが、本市での許可の取得状況を伺う。

A 市内で事業を行っていた8事業者のうち、小山野地先の1事業場が撤退し、他7事業場は許可申請を行った上で事業を継続している。新たに1事業場が操業を計画し、県の指導要綱に基づき事前協議が行われている。



創政会
下田 剣吾 議員

命を守る避難所、古い公民館建替え急げ

Q 市長公約に「周南公民館を建て替えます」とあるが、令和12年度までに建替えや大規模改修を行う予定の施設で設計していない施設を伺う。

A 予定する事業費1億円以上の施設は32施設で、うち設計に至っていない施設は24施設である。設計しなければ建設できない。令和12年まであと4年。建替え、改修すべき施設は101あるが、設計未着手は89もある。計画が順調に進んでいるとは言えないと考えるが、見解を伺う。

A 人件費、物件費等が上昇する中で、税収は少ししか増えていない。経常事業に加えて、施設整備を全て見直すことが必要である。

Q ロツテも、命を守る小学校や公民館の建替えも大事。このスタートに立たないと個別施設計画の見直しは、うまくいかないと考えるが、見解を伺う。

A 市民の命を守る避難所は、しっかり準備していきたい。

定年前に辞める職員130人以上、対策を

Q 職員の退職について。市長就任から定年前の早期退職の数を伺う。

A 平成30年11月からの累計は、役職定年を機に退職した者も含め137名である。

今回試算された事業費 (設計、建設、監理等)	
周南公民館	約6億3千万円
小糸公民館	約8億5千万円
小櫃公民館	約7億6千万円

下田作成



諸派・希望にみらい
林祥子 議員

健康被害がでているワクチン接種

Q 全てのワクチン接種は任意であるが、水銀チメロサルやホルマリンその他添加物などによる発がん性や脳機能への心配から、保護者が小児のワクチン接種を打たせない決断をした場合、虐待行為や医療ネグレクトと判断される原因になるのか何う。

A 法律上、全てのワクチン接種は強制ではないため、受けさせないことのみで虐待行為や医療ネグレクトとみなされることはない。

JR久留里線

Q 検討会議の報告では、地域交通の維持確保・充実が市が県の協力を得ながら検討することにも、JRには沿線自治体、地元交通事業者との協働が求められているが、状況を伺う。

A 現在はJRとの協議が中心であるが、協議状況が進展していく中で、今後ほかの関係機関や事業者との連携についても検討していく。

有機フッ素化合物の調査

Q 産業廃棄物処分場の直下の河川で高濃度の有機フッ素化合物PFASが検出されたとの情報がある。補助金を活用して本市でPFASの発生源の調査ができるのではないか。

A 県の調査で国の定めた暫定指針値を継続的に超過している地点があった場合は、原因を把握するため県の補助金などを活用し、市が新たに地下水の調査を行うことができる。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果4ページを参照してください。

総務常任委員会



下田剣吾委員長

審査案件（議案第1号から議案第4号、議案第8号、議案第14号から議案第18号、議案第20号、議案第21号）

財産の無償貸付け

議案第8号

（内容） 旧小糸小学校について、公募型プロポーザルにより優先交渉権者として選定された事業者等に、建物及びその敷地を無償で貸し付けるもの。期間は10年間で、提案された事業の概要は、魚の陸上養殖と水耕栽培を組み合わせた循環型農業であるアクアポニックスにより、障害者就業支援事業として高麗人参の生産等を行い、障がい者の雇用や

収入問題の解決を図るとともに、その収益の一部をレスリングスクールの強化費に充て、レスリング選手の輩出を目指すもの。

問 事業計画について何う。

答 高麗人参の栽培については初年度は3教室を使用する予定であり、5年後を目途に14教室のすべてを使用する計画であること。また、就労支援員として8名を雇用する予定である。

（全会一致で可決すべきものと決定）

ボールパーク整備推進事業

議案第17号（補正予算）

問 予算額の内訳について何う。

答 主なものの概算として、基本計画策定支援業務が2千860万円、土地評価業務が1千240万円、造成設計業務が1千140万円、ほか旅費、都市公園計画等策定業務、現況測量業務などである。

問 国内外での調査の内容について何う。

答 国内では3か所、海外ではアメリカのマイナーリーグ施設

教育福祉常任委員会



高橋健治委員長

審査案件（議案第17号、議案第19号、議案第21号、陳情第4号、陳情第5号）



や大学野球施設、他種目のプロスポーツ施設の計6か所を予定しており、調査事項は選手の育成拠点としての施設の状況やクラブハウスを中心とした総合的な施設の配置、球場を核とした周辺地域の開発状況、選手と住民が利用可能となっている施設における動線について調査する。

反対討論 設置場所に関して同意できない。

賛成討論 スポーツを通じた交流やにぎわいが期待できる大きなプロジェクトであることから、賛成する。

（賛成多数で可決すべきものと決定）

調停の成立

(内容) 周西南中学校の学校事務職員が学校納入金の一部を私的に流用したことにより、本市が保護者に支払った損害賠償金について、元校長2名に対してその金員の支払いを求め、調停の申立てを行ったところ、調停委員会から元校長は市に対し、70万円の支払いをするよう勧告があり、元校長1名がこれを承諾したこと、本市においてもこれを承諾しようとするもの。

問 金額の妥当性について伺う。

答 調停において、本市は元校長に対して412万7千924円の支払いを求めたところ、この元校長は道義的責任があることを認め、ある程度の支払いには応じる意思を示した。双方の主張をもとに調停委員会から提示された70万円の支払いを承諾したこと、本市としても本件の早期解決を図るため、調停委員会の勧告を尊重するものである。

(全会一致で可決すべきものと決定)

建設経済常任委員会



鈴木高大委員長

審査案件（議案第5号から議案第7号、議案第9号から議案第13号、議案第17号、議案第21号）

議案第5号

農村環境改善センターの開館時間等の変更

問 開館時間変更の理由について伺う。

答 平日は夜間の利用が多い一方で午前の利用が少ないこと、土日祝日は日中の利用が多い一方で、夜間の利用が少ない状況であることから開館時間を変更するもの。

問 施設の今後の方向性について伺う。

答 個別施設計画では令和20年までに売却の方向性としている。また、本施設は農家生活の改善等を目的とした施設であるが、近年の利用状況は多目的ホールでのスポーツ関係が主で

あり、当初の設置目的と異なっている。今後、近隣にある野球場やプールと一体的に検討していく。（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第6号

久留里観光交流センターの開館時間等の変更

問 開館時間及び休館日変更の理由について伺う。

答 開館時間については、来館者の利用実績を考慮し短縮を行うもの。休館日については、日曜に続けて旅行する方への対応や、周辺飲食店等の休業日などを考慮し、月曜日から水曜日に変更するもの。（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第7号

自然休養村管理センターの廃止

問 施設の今後の方向性について伺う。

答 建物が耐用年数を超えているため、個別施設計画に基づき、令和12年までの施設売却に向けて手続を進めている。地域の方の意見を伺いながら有効に活用されるような方法を検討する。

(全会一致で可決すべきものと決定)

総務常任委員会

令和7年5月12日(月)～13日(火)

視察先 千葉県成田市、東京都稲城市

①地域未来投資促進法を活用した物流施設の整備について（成田市）

君津インターチェンジ周辺開発を目指す本市にとつて、最も厳しい障壁は農地に関する規制。成田市では未来法を活用することで、規制を外し、ゴルフ場跡地と隣接する農地に外資系の大規模物流施設を建設している。実際に事業を進めた成田市の担当者から話を聞き、規制の突破は未来法を使っても多くの手順はあるが、実際に事業を行う民間企業の予見可能性を高める効果があることなど、農地を活用する上での要点を知ることができた。

②プロ野球二軍本拠地による地域活性化の取組について（東京ジャイアンツタウン（稲城市））

ロッテファーム本拠地を誘致した本市にとつての理想形として読売グループが新設した東京ジャイアンツタウンを視察した。温暖化に対応した空気が循環する設計、最新技術を活用した人工芝、野球ファンを喜ばせるための各種展示などを社長の案内で見せていただいた。また、周囲には建設中の水族館をはじめ、遊園地、ゴルフ場、温浴施設、植物園などがある。音楽イベントなども行い、新たな観客を呼ぶための工夫がされていた。隣接の小学校との交流や、将来への取組も学ぶことができた。



Report 行政視察研修報告 先進地リポート

全国市議会議長会 永年在职議員表彰

永年にわたり地方自治の発展と市政の進展にご尽力された功績により、小林喜久男議員が全国市議会議長会から特別表彰（25年）を受けられました。



小林 喜久男議員

千葉県市監査委員 協議会表彰

市監査委員（議会選出）として尽力され、監査委員制度の運営に関し特に功績のあった者として、三浦章議員が千葉県市監査委員協議会から表彰を受けられました。



三浦 章議員

議場見学によろこそ！

6月から7月にかけて、八重原小学校、周西の丘小学校、小櫃小学校の3年生が議場見学に訪れました。説明が始まると子どもたちは熱心に耳を傾け、議会の仕組みや議場の設備などについて多くの質問がありました。また、実際に議席に着席して、市議会の雰囲気を感じてもらいました。



福島県相馬市との 災害時相互応援協定締結式

6月30日に、相馬市との災害時相互応援協定締結式が行われ、小倉議長が出席しました。令和元年房総半島台風の際、全国市長会会長であった立谷相馬市長から市長会を通じて支援いただいたことをきっかけに、本市からも相馬市へ災害時の物資支援や職員派遣を行うなど交流が続いており、両市では、多発する自然災害に対し、より強固な防災体制を築くため、災害時相互応援協定を締結しました。



左から、門馬相馬市議会副議長、立谷相馬市長、石井市長、小倉議長

令和7年 第3回定例会 9月2日(火) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員 長／高橋 明
- 副委員長／下田 剣吾
- 委員／高橋 健治 鈴木 高大 奈良輪 政五

- 発行／令和7年8月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>